

プールコートモルタル用プライマーEをはじめ掲載しました製品は
多様化するプールコートの塗装システムをサポートし、
ユニークにその機能を発揮します。

プールコート モルタル用プライマーE

プールコートモルタル用プライマーEは、エポキシウレタン系です。モルタルやコンクリートへの付着性に優れ、セメントを混入する事で素地のピンホールを封止します。
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外)
日塗工登録番号 D01049

- 使用法……………1.混合：モルタル用プライマーEの主剤と硬化剤を3：1(質量比)の割合で混合後、さらにモルタル用プライマーEと同質量のポルトランドセメントを混入し、電動攪拌機を使って十分に攪拌して下さい。
- 2.塗装：ローラーで塗料を配ってからタマリを作らないようにヘラやコテでしごき塗りして下さい。吸い込みにくいモルタルの場合はプールコートスペシャルAUシンナーで希釈して下さい。施工時にはセメントの沈降がありますので混合しながら塗装して下さい。
- 3.注意：表面が劣化している場合は、上記混合物を速やかに2回しごき塗りして下さい。塗装後、雨に打たれたり塗装間隔が延びた場合は、全面を入念にシンナー拭きして下さい。
- 可使時間……………2時間(23℃)
- 塗付量……………0.1～0.13kg/m²
- 塗装面積……………120～160m²/16kgセット
- 重ね塗り可能時間……………16時間以上2日以内(23℃)
- シンナー及び希釈率……………プールコートスペシャルAUシンナー 0～20%(質量)
- 容 量……………16kgセット(主剤12kg・硬化剤4kg) 4kgセット(主剤3kg・硬化剤1kg)

プールコート モルタル用プライマーM

プールコートモルタル用プライマーMは、ウレタン系です。コンクリートモルタルプールのFREライニング用下塗り塗料で、モルタル面とライニング材に対して優れた付着性を有しています。
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外)
日塗工登録番号 D01050

- 使用法……………モルタル用プライマーMに同量のポルトランドセメントを混入し、電動攪拌機を使って十分に攪拌して下さい。ローラーで塗料を配ってからタマリを作らないようにヘラやコテでしごき塗りして下さい。吸い込みにくいモルタルの場合はプールコートスペシャルAUシンナーで希釈して下さい。施工時にはセメントの沈降がありますので混合しながら塗装して下さい。
- 可使時間……………30分(23℃)
- 塗付量……………0.1～0.13kg/m²
- 塗装面積……………120～160m²/16kg
- 重ね塗り可能時間……………16時間以上2日以内(23℃)
- シンナー及び希釈率……………プールコートスペシャルAUシンナー 0～20%(質量)
- 容 量……………16kg

プールコート 非鉄金属用プライマー

プールコート非鉄金属用プライマーは、エポキシポリアミド系です。ステンレス・アルミニウムへの付着力が高く、さらに耐水性、耐久性にすぐれています。
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外)
日塗工登録番号 D01056

- 使用法……………非鉄金属用プライマーの主剤と硬化剤を4：1(質量比)の割合で電動攪拌機を使って十分に攪拌して下さい。プールコートスペシャルシンナーで希釈し、はけ、またはローラーで塗装して下さい。フレーク顔料が入っていますので、表面が多少“ざらざら”した仕上がりになります。ローラー塗りの場合はローラーネット等でよくしごきながら塗装し、缶の中も時々攪拌して下さい。
- 可使時間……………24時間(23℃)
- 塗付量……………0.12～0.14kg/m²
- 塗装面積……………140～165m²/20kgセット
- 重ね塗り可能時間……………16時間以上7日以内(23℃)
- シンナー及び希釈率……………プールコートスペシャルシンナー 5～15%(質量)
- 容 量……………20kgセット(主剤16kg・硬化剤4kg)
- 色……………白

プールコート 鋼板用プライマー

プールコート鋼板用プライマーは、エポキシポリアミド系です。無公害の防錆顔料とエポキシ樹脂の付着力とによって抜群の防錆力を発揮します。

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外)
日塗工登録番号 DO1055

- 使用法……………鋼板用プライマーの主剤と硬化剤を5：1(質量比)の割合で電動攪拌機を使って十分に攪拌して下さい。プールコートスペシャルシンナーで希釈し、はけ、ローラー、またはエアレスで塗装して下さい。
- 可使用時間……………24時間(23℃)
- 塗付量……………0.14~0.16kg/m²
- 塗装面積……………110~125m²/18kgセット
- 重ね塗り可能時間……………16時間以上7日以内(23℃)
- シンナー及び希釈率……………プールコートスペシャルシンナー 10~20%(質量)
- 容 量……………18kgセット(主剤15kg・硬化剤3kg) 6kgセット(主剤5kg・硬化剤1kg)
- 色……………赤錆色

プールコート ジンクリッチプライマー

プールコートジンクリッチプライマーは、エポキシ樹脂系ジンクリッチプライマーで鋼板用防錆下塗り材です。1種ケレンの場合に使用します。

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外)
日塗工登録番号 DO1054

- 使用法……………1.混合：ジンクリッチプライマーの主剤と硬化剤と亜鉛末を2：1：7(質量比)で混合して下さい。まず、電動攪拌機を使って主剤と硬化剤を混合し、そこへ亜鉛末を少しずつ加えて粗粒がなくなるまで十分に攪拌して下さい。
2.塗装：プラストSa2¹/₂に素地調整後その日の内に必要に応じてプールコートスペシャルシンナーで希釈し、はけで素地にすり込むようにたっぷり塗装して下さい。(素地と色が近いので、かすれや塗り残しのないよう注意して下さい。)
- 可使用時間……………24時間(23℃)
- 塗付量……………0.25~0.3kg/m²
- 塗装面積……………33~40m²/10kgセット
- 重ね塗り可能時間……………7時間以上3日以内(23℃)
- シンナー及び希釈率……………プールコートスペシャルシンナー 0~10%(質量)
- 容 量……………10kgセット(主剤2kg・硬化剤1kg・亜鉛末7kg)

プールコート スペシャル 塗替用プライマー

プールコートスペシャル塗替用プライマーは、エポキシポリアミド系です。旧塗膜がエポキシ系及びアクリルウレタン系の場合の塗り替えに使用します。抜群の密着力を発揮します。

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外)
日塗工登録番号 DO1053

- 使用法……………スペシャル塗替用プライマーの主剤と硬化剤を4：1(質量比)の割合で混合し、電動攪拌機を使って十分に攪拌して下さい。プールコートスペシャルシンナーで希釈し、はけ、またはローラーで塗装して下さい。フレーク顔料が入っていますので、表面が“ざらざら”した仕上がりになります。ローラー塗りの場合はローラーネット等によくしごきながら塗装し、缶の中も時々攪拌して下さい。
- 可使用時間……………24時間(23℃)
- 塗付量……………0.12~0.14kg/m²
- 塗装面積……………140~165m²/20kgセット
- 重ね塗り可能時間……………16時間以上7日以内(23℃)
- シンナー及び希釈率……………プールコートスペシャルシンナー 5~15%(質量)
- 容 量……………20kgセット(主剤16kg・硬化剤4kg) 5kgセット(主剤4kg・硬化剤1kg)
- 色……………グレー

プールコート スペシャル F中塗

プールコートスペシャルF中塗は、エポキシポリアミド系です。プールコートスペシャルFを上塗りする場合の中塗り材として耐水性、耐久性に優れています。
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外)
日塗工登録番号 D01057

- 使用法……………F中塗の主剤と硬化剤を4：1(質量比)の割合で電動攪拌機を使って十分に攪拌して下さい。プールコートスペシャルシンナーで希釈し、はけ、またはローラーで塗装して下さい。中塗りとは塗りの塗装間隔(重ね塗り可能時間)は厳守して下さい。
- 可使時間……………18時間(23℃)
- 塗付量……………0.14～0.16kg/m²
- 塗装面積……………100～110m²/16kgセット
- 重ね塗り可能時間……………16時間以上7日以内(23℃)
- シンナー及び希釈率……………プールコートスペシャルシンナー 10～20%(質量)
- 容 量……………16kgセット(主剤12.8kg・硬化剤3.2kg)
- 色……………白

プールコート スペシャル

プールコートスペシャルは、エポキシポリアミド系です。耐水性にすぐれた中塗り材です。
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外)
日塗工登録番号 D01052

- 使用法……………スペシャルの主剤と硬化剤を4：1(質量比)の割合で電動攪拌機を使って十分に攪拌して下さい。プールコートスペシャルシンナーで希釈し、はけ、またはローラーで塗装して下さい。
- 可使時間……………24時間(23℃)
- 塗付量……………0.14～0.16kg/m²
- 塗装面積……………100～110m²/16kgセット
- 重ね塗り可能時間……………16時間以上7日以内(23℃)
- シンナー及び希釈率……………プールコートスペシャルシンナー 10～20%(質量)
- 容 量……………16kgセット(主剤12.8kg・硬化剤3.2kg) 4kgセット(主剤3.2kg・硬化剤0.8kg)
- 色……………各色

デストンプール用

プールに使用されているエポキシ系ウレタン系などの塗膜を剥離することが出来ます。(厚膜は不可)

- 使用法……………古い塗膜の上に刷毛、ローラーでたっぷり塗付して下さい。塗膜の種類、厚さ、古さ等によって幾分異なってきますがおよそ10分位で塗膜が膨れあがってきます。その時にスクレーパー、ヘラ等で掻き落とし最後に水洗(タワシ、デッキブラシ、高圧水等)によって面を洗浄して下さい。アクリル系は塗膜がゆるむだけですからスクレーパー等で掻き取って洗浄して下さい。塗付量は塗膜の種類厚みによって変化します。
- 容 量……………20kg
- 注 意……………貯蔵中、気温の変化によって容器の中でガスが発生している事がありますから、キャップを取る時はウエスなどでキャップを覆いガスを抜いてから取して下さい。

プールコート 清浄剤

プールコート清浄剤は特殊な界面活性剤と無機系洗剤を配合した水性タイプの洗剤です。プールに付着している藻類やアクなどによく浸透して浮き上がらせます。シーズン前の洗浄や塗替えの水洗時に使用します。経済的です。

- 使用法……………うすめずにそのまま、はけ、ローラーなどで全面に厚目に塗付して下さい。塗付後、5～10分間放置してから水洗して下さい。固く付着している汚れはデッキブラシでこすりながら水洗すると効果的です。酸性系ですので取扱い中は皮膚に直接触れないよう、保護手袋等を着用して下さい。塗替える時はよく乾燥した後、下地処理工程に移して下さい。(清浄剤が残っていると密着不良の原因になりますので十分な水洗をして下さい。)
- 標準処理面積……………90～100m²/16kg
- 容 量……………16kg

プールコート 脱脂剤

プールコート脱脂剤は、新設金属プール(ステンレス、アルミニウム)用の水性タイプの脱脂剤です。金属プールに付着している油分や汚れを除去し、塗膜の密着性を向上させます。

- 使用法……………プールコート脱脂剤：水＝1：3(質量比)の割合で希釈し、ローラー、はけなどで全面に塗り付けて下さい。5分程度置いてから高圧水洗機で脱脂剤と一緒に加工油、汚れを洗い流して下さい。(脱脂剤が残っていると密着不良の原因となりますので、水洗は十分に行ってください。)
なお、脱脂剤の混入した水はアルカリ性ですので、排水の際は用水路や池などに流れ込まないように、環境への影響に十分注意して下さい。
- 標準処理面積……………450m²/18kg
- 容 量……………18kg

エポパテ 速乾型N

エポパテ速乾型Nは、プール用に使いやすくしたエポキシ樹脂系パテ材です。モルタルの小さなクラックや、欠損、鋼板プールの凹部の穴埋めなどに使用します。
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外)
日塗工登録番号 D01298

- 使用法……………エポパテ速乾型Nの主剤(白)と硬化剤(濃グレー)を1：1(質量比)の割合で、色が均一(淡いグレー)になるまで混合し、ヘラなどでパテ付けして下さい。
硬化後、ペーパー掛けをしてから必ずプールコートスペシャルを塗装して下さい。
 - 可使時間……………60分(10℃)、20分(23℃)、15分(30℃)
 - 乾燥時間……………10時間(10℃)、2時間(23℃)、1.5時間(30℃)
 - プールコートスペシャル
塗装可能時間……………3時間以上2日以内(23℃)
 - 容 量……………2kgセット(主剤1kg・硬化剤1kg)
- ※ 可使時間が短いため、その間に使い切る分だけ主剤と硬化剤を混合して使用して下さい。

プールセメントW 速乾型

プールセメントW速乾型は、反応性エポキシ樹脂と水硬性無機質骨材を組み合わせた塗付型不陸調整材です。
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外)
日塗工登録番号 D01140

- 使用法……………主剤と硬化剤を所定の割合で電動攪拌機を使って十分に攪拌して下さい。次に専用骨材を加え十分にかきまぜた後、コテなどで塗り広げて下さい。粘度調整をする場合は少量の清水を追加して下さい(標準2回塗り)。モルタルの凹凸が激しい場合や塗付後すぐに泡が発生する場合は、プールセメントW速乾型(1セット)に対して6号硅砂を10～15kg追加して、塗り広げて下さい。
注意：小分けして使用する場合、主剤と硬化剤は何度も振ってから正確に計り取り、配合比を順守し混合して下さい。
- 可使時間……………60分(23～35℃)、90分(5～23℃)
- 塗付量……………0.6～1.0kg/m²/回(素地の状態により増減があります。)
- 塗装面積……………35～58m²/1セット/回
- 塗装可能時間……………2日以上 1か月以内(23℃)
- 容 量……………35kgセット(主剤5kg・硬化剤5kg・骨材25kg)

ダイドレージモル

ダイドレージモルはモルタル、コンクリートの欠損部の補修用再生材です。
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外)
日塗工登録番号 D01090

- 使用法……………ダイドレージモルの主剤と硬化剤を2：1(質量比)の割合でよく混合し、さらに、骨材を質量比で4倍程度混入し、コテで施工して下さい。
- 可使時間……………30分(23℃)
- 硬化時間……………10時間(23℃)
- 塗装可能時間……………16時間以上 3日以内(23℃)
- 容 量……………6kgセット(主剤4kg・硬化剤2kg)

ハイボンド#100

ハイボンド#100はモルタル、コンクリートの浮き部に使用する部分的な充填接着用エポキシ樹脂注入材です。
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外)
日塗工登録番号 DO1113

- 使用法……………主剤と硬化剤を2：1(質量比)の割合でよく混合し、コンクリート用ドリルなどで穴をあけた浮き部に、グリースポンプなどを用いて注入して下さい。
- 品 種……………高粘度タイプ
- 可使時間……………40分(23℃)
- 硬化時間……………10時間(23℃)
- 容 量……………6kgセット(主剤4kg・硬化剤2kg)

フィールド GRC-L

モルタルの欠落部や、モルタルを剥落させた後を補修します。ハイボンドタックコート塗装後に埋め戻します。
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外)
日塗工登録番号 DO1091

- 使用法……………ハイボンドタックコートが未硬化のうちに施工します。粉体：混和液=20：3(質量比)で混合して下さい。モルタルミキサーに粉体を入れ、攪拌しながら混和液を混合します。施工面に材料を配り、コテなどで設計厚みになるように施工して下さい。
- 塗付量……………厚み10mmの場合 20kg/m²
- 施工面積……………厚み10mmの場合 1.15m²/23kgセット
- 可使時間……………60分(23℃)
- 重ね塗り可能時間……………16時間以上 1か月以内(23℃)
- 容 量……………23kgセット(粉体20kg・混和液3kg)

ハイボンド タックコート

モルタルの欠落部や、モルタルを剥落させた後、フィールドGRC-Lを施工する前に塗装するモルタル打継ぎ材です。
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外)
日塗工登録番号 DO1092

- 使用法……………主剤：硬化剤=4：1(質量比)の割合でよく混合し、下地コンクリートにはけ、ローラー、ヘラなどで塗付して下さい。フィールドGRC-Lを施工する前にタックコートが硬化した場合は再度タックコートを塗装して下さい。
- 塗付量……………0.2～1.0kg/m²(素地の凹凸により大きく変化します。)
- 施工面積……………5～25m²/5kgセット
- 可使時間……………40分(23℃)
- 最適打継時間……………塗付後30分以上2時間以内(23℃)
- 容 量……………20kgセット(主剤16kg・硬化剤4kg) 5kgセット(主剤4kg・硬化剤1kg)

ユカクリート レジモルクリヤー

ユカクリートレジモルクリヤーはモルタルブルの下地からの湿気を拡散したり、素地の段差を修整するレジモル用バインダーとして使用します。
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外)
日塗工登録番号 DO1199

- 使用法……………タックコート…ユカクリートレジモルクリヤーの主剤と硬化剤を4：1(質量比)の割合で混合し、シゴキ塗りをして下さい。
レジモル施工…タックコートが未硬化のうちにレジモルクリヤー：骨材=8：60(質量比)の割合で、まずミキサーに骨材を入れ、攪拌しながらクリヤーを入れて十分に混合して下さい。その後、床に広げて転圧して下さい。
目止め……………レジモルクリヤー：7号砂=10：5(質量比)で混合し、更にユカクリートタレ防止剤をレジモルクリヤーに対して6～9%(質量)入れて攪拌し、レジモル表面を目止めして下さい。
- 塗付量……………タックコート 0.3kg/m²
レジモル施工 0.8kg/m² } 合計1.6kg/m² (厚み 4mm)
目止め 0.5kg/m²
- 施工面積……………合計10m²/16kgセット
- 可使時間……………夏型(23℃) 40分、(30℃) 20分、冬型(10℃) 20分
- 重ね塗り可能時間……………16時間以上3日以内(23℃)
- 硬化時間……………12時間(23℃)
- 容 量……………16kgセット(主剤12.8kg・硬化剤3.2kg) レジモル骨材30kg ユカクリートタレ防止剤1.6kg

水中ボンド

水中でも硬化するパテ材です。
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外)
日塗工登録番号 DD1093

- 使用法……………主剤と硬化剤を1：1(質量比)の割合で色が均一になるまで十分混合して下さい。指先に水をつけながら混合するとベタ付きが少なくなります。水中で使用する時はよく圧着して下さい。
- 可使時間……………60分(23℃)
- 硬化時間……………12時間(23℃)
- 容 量……………1kgセット(主剤0.5kg・硬化剤0.5kg)
- 色……………白、マリンブルー、ライトスカイブルー

ハイボンド#3000

ハイボンド#3000は、無溶剤型エポキシ樹脂系のFREライニング材です。
モルタルをはじめ、FRPや金属プールにも使用します。
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外)
日塗工登録番号 DD1079

- 使用法……………ハイボンド#3000の主剤と硬化剤を5：1(質量比)の割合で混合し、電動攪拌機を使って色が均一(淡いブルー)になるまで十分に攪拌して下さい。予めプライマーを塗装した面にローラー、コテなどで塗り広げてガラスクロス(アラミドクロス)を貼り付け、直ちにその上からも塗付して脱泡して下さい。乾燥後、さらにハイボンド#3000をコテなどで塗り広げてライニングして下さい。冬期には冬型を使用して下さい。中塗りにはプールコートスペシャルを使用して下さい。
- 塗付量……………ガラスクロス貼り付け 0.7~0.8kg/m²(ガラスクロスの厚みにより変動します。)
ライニング 0.7~0.8kg/m²
アラミドクロス貼り付け 0.5~0.6kg/m²(アラミドクロスの厚みにより変動します。)
ライニング 0.8~1.0kg/m²
- 塗装面積……………ガラスクロス貼り付け 16m²/12kgセット
ライニング 16m²/12kgセット
アラミドクロス貼り付け 20m²/12kgセット
ライニング 12m²/12kgセット
- 可使時間……………標準型45分(23℃) 冬型50分(10℃)
- 重ね塗り可能時間……………標準型16時間以上5日以内(23℃) 冬型48時間以上5日以内(10℃)
- シンナー及び希釈率……………必要な場合はプールコートライニング用シンナー4%(質量)以内で希釈して下さい。希釈率は厳守して下さい。
- 容 量……………12kgセット(主剤10kg・硬化剤2kg)

◎ハイボンド#3000は、モルタルプールの不陸調整材としても使用できます。


標準処方

ハイボンド#3000/珪砂7~8号/タレ防止剤/プールコートライニング用シンナー
=100/10~50/0~8/0~2(質量比)

(配合は、施工時の温度に加え、不陸の大きさ、底面か壁面かななどで変動します。)

不陸調整後は、いずれの場合も適切な塗膜養生期間を経てからサンディングによってバリや突起を除去して次工程に進んで下さい。

※各製品の使用に当たっての詳細は製品説明書をご覧ください。

SINCE 1932.
 **大同塗料株式会社**
ISO 9001 (滋賀工場)

本 社	〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06(6308)6288 FAX.06(6308)3618
東 京 支 店	〒135-0031 東京都江東区佐賀1丁目18番8号	TEL.03(3642)8431 FAX.03(3643)5560
名 古 屋 支 店	〒452-0962 愛知県清須市春日流77番地1	TEL.052(409)8711 FAX.052(409)8716
大 阪 支 店	〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06(6308)6281 FAX.06(6308)3512
福 岡 支 店	〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5丁目8番18号	TEL.092(641)2025 FAX.092(641)4022
札 幌 営 業 所	〒061-3244 石狩市新港南3丁目704番地8	TEL.0133(76)6177 FAX.0133(76)6178
千 葉 営 業 所	〒270-1403 千葉県白井市河原子木戸場364番地13	TEL.047(492)1901 FAX.047(492)1903
神 奈 川 営 業 所	〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名2507番地10	TEL.042(764)4835 FAX.042(764)4836
滋 賀 営 業 所	〒524-0051 滋賀県守山市三宅町561番地	TEL.077(583)2234 FAX.077(583)3964
姫 路 営 業 所	〒670-0073 兵庫県姫路市御立中5丁目12番22号	TEL.079(299)5959 FAX.079(299)5960
広 島 営 業 所	〒733-0833 広島市西区商工センター4丁目5番15号	TEL.082(277)6464 FAX.082(277)6461

本 社 工 場	〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06(6308)6281 FAX.06(6308)3512
滋 賀 工 場	〒524-0051 滋賀県守山市三宅町561番地	TEL.077(583)2234 FAX.077(583)3964

ホームページアドレス <https://www.daido-toryo.co.jp>



製品の規格及び仕様は改良等のため
予告なく変更する場合があります。

50-1057
'24.5.24版 5,000S